

(別 紙)

国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）の平成20年3月卒業者の就職状況

1. 調査結果の概要

国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）卒業者の教員就職率は、少子化による児童生徒数の減少等に伴い教員採用者数が減少したことから、平成11年3月卒業者の教員就職率は32%にまで低下したが、その後、教員採用者数の増加（特に正規採用者数の増加）や、教員養成大学・学部の入学定員減などにより、近年は50%台を維持しており、今年は56.7%（前年比0.2ポイント減少）であり、前年並みの教員就職率となっている。

なお、卒業生数から大学院等への進学者を除いた場合の教員就職率は、前年と同じ64.0%となっている。

区 分	就 職 者				進 学 者	未 就 職 者	卒 業 者 (計)
	教員就職者	左の内訳		教員以外への就職者			
		正 規 採 用	臨時的任用				
平成20年 3月卒業生	5,869人 (56.7%) (64.0%)	3,206人 (30.9%) (35.0%)	2,663人 (25.7%) (29.0%)	2,351人 (22.7%) (25.6%)	1,186人 (11.4%)	953人 (9.2%) (10.4%)	10,359人 (100.0%) (100.0%)
(参考) 平成19年 3月卒業生	5,768人 (56.9%) (64.0%)	3,182人 (31.4%) (35.3%)	2,586人 (25.5%) (28.7%)	2,072人 (20.5%) (23.0%)	1,123人 (11.1%)	1,168人 (11.5%) (13.0%)	10,131人 (100.0%) (100.0%)

(注)

1. 各年の9月末までの状況を取りまとめたものである。
2. 「教員就職者」は、国公私立の幼稚園、小、中、高等、中等教育、特別支援学校、の教員（養護教諭を含む。）として就職した者の数である。
3. 「臨時的任用」は、臨時的に病休、産休、育児休業などの代替教員等として任用された者の数である。
4. ()内上段は卒業生に占める割合(%)、()内下段は卒業生数から大学院等への進学者数を除いた数を母数とした場合の割合(%)である。
5. 平成19年3月卒業生数には鳥取大学教員養成課程の卒業生数が含まれているが、平成20年3月卒業生数には含まれていない。(鳥取大学は、平成16年度に教員養成学部から一般学部への改組が行われたため、平成20年3月以降の卒業生については、本調査の対象から除外している。)

2. 教員就職率について

平成20年3月卒業者の教員就職率が、平成19年3月卒業者に比べて上昇した大学は24大学、低下した大学は23大学であり、それぞれの状況が顕著な大学での主な要因は、以下のとおりである。

<上昇が顕著な大学>

- ・当該大学・学部が所在する地域における教員採用者数（臨時的任用も含む）が大きく増加した。

- ・当該大学・学部が所在する地域以外で、教員採用者数の多い首都圏などの大都市圏の自治体に採用される学生が増加した。
- ・大学として、学生への就職支援の充実に取り組んだ。（例えば、1年次から4年次までを通じた就職支援計画及び就職支援体制の積極的な見直し、大都市圏の採用試験の積極的な受験を勧めるため、大学に大都市圏の教育委員会担当者を迎えて説明会を開催、就職の手引き等の充実、など。）

<低下が顕著な大学>

- ・当該大学・学部が所在する地域における教員採用者数（臨時的任用も含む）が大きく減少した。
- ・民間企業における就職状況の改善等により、教員以外への就職者が増加した。

（参考）

教員就職率の高い大学

大学名	教員就職率
兵庫教育	83.5%
愛知教育	72.2%
和歌山	72.0%
奈良教育	67.4%
鳴門教育	66.9%

教員就職率の低い大学

大学名	教員就職率
鹿児島	41.0%
秋田	42.1%
山梨	42.2%
熊本	42.5%
金沢	42.6%

（高等教育局専門教育課教員養成企画室）